

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	基礎演技Ⅳ	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名		開設期	後期	
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	70時間
単位数	2単位				授業形態	実習	
教科書/教材	必要に応じ、授業内に配布。						
担当教員情報							
担当教員	高山賢吾・高橋美沙・染谷麻衣				実務経験の有無・職種	有・俳優	
学習目的							
俳優・声優として必要とされる体力、柔軟性を得るための基礎トレーニングを学び、健やかな体作りを目指す。演技トレーニングでは、コミュニケーションゲームやシアターゲーム、インプロを通じ、演技に必要な要素を身につける。							
到達目標							
自身の考えを持ち、相手に思いや考えを伝えられるようになること、自発的に行動できるようになることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、ストレッチ、発声、筋力トレーニングをはじめ、身体トレーニングを習慣化させていく。自分にはどんな身体トレーニングが必要なのか、演じるために何が必要であり、なぜ必要なのか、出された課題をどのように理解し表現するのか、学生がどう考え実行していくのかを意識しながら授業を進める。						
注意点	この授業では、学生間、講師と学生のコミュニケーションを重視する。様々な意見・表現があることを学ぶためにも、他人の発言や実技を行う人には注目する。授業中の私語、受講態度には厳しく対応する。やむを得ず遅刻・欠席をする場合には、学科へ連絡をする。学科へ連絡なしの遅刻・欠席は認めない。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	平常点	50%	授業態度、積極性、授業参加度によって評価する				
	課題・実技	50%	授業内に行われる課題・実技への取り組み、内容についての評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	自己分析			目標・課題を確認する			
2回	エクササイズ①			身体の緊張と解放について学ぶ			
3回	エクササイズ②			身体と心の解放（羞恥心からの解放）について学ぶ			
4回	相手に伝えるということ①			声の大きさと強さ、距離感・関係性について考える			
5回	相手に伝えるということ②			感受性を養う			
6回	シアターゲーム④			瞬発力・想像性・想像力を養う			
7回	空間認識			空間を認識する、感性を養う			
8回	人間観察			観察力・洞察力を養う			
9回	インプロビゼーション③			アクションとリアクションについての復習			
10回	無対象での動き			記憶力・想像力・五感を養う			
11回	戯曲・台本に対するアプローチ②			戯曲のもつリズム、テンポについて考える			
12回	セリフについて			セリフと呼吸について学ぶ			
13回	セリフについて			思考と呼吸について学ぶ			
14回	セリフについて			読解力・想像力を養う			
15回	まとめ			全体のまとめ			